



日本生涯スポーツ学会
Japanese Society of Lifelong Sports

News Letter

2022 JULY

【目次】

- 会長就任挨拶
- 副会長就任にあたって
- 理事長就任にあたって
- 各委員会委員長あいさつ
- 新役員等体制紹介
- 日本生涯スポーツ学会第23回大会の報告
- 日本生涯スポーツ学会第24回大会のご案内
- 事務局からのお願いとお知らせ
- 新入会員紹介

『会長就任挨拶』

日本生涯スポーツ学会 会長 萩 裕美子



皆様、お元気でお過ごしでしょうか。このたび2期目の会長を拝命することになりました。1期目の2年間はコロナ禍で思わぬ事態に見舞われ、皆様ともお会いすることができず、大変残念でありましたがあつという間に過ぎた気がします。ある意味では何もできないで終わったような気がします。そのような状況でもあり、もう1期、長ヶ原理事長と共に引き受けすることとしました。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

この2年間のコロナ禍の経験は悪いことばかりではなかったように思います。東京オリンピック・パラリンピックが1年延期という、またほぼ無観客での開催というこれまでに経験のない事態の中で実施されました。実施の賛否はありましたが、やはり実施したことによってスポーツの価値を考えるきっかけになったのではないかと思います。というのも、東京オリンピック・パラリンピックの終了後にはスポーツ予算が大幅に削られるのではないかと心配もありましたが、今年度予算において、昨年度とあまり変わらない予算を獲得しております。

本年4月には第3期のスポーツ基本計画が施行され、今後の5年間で実施する施策として12項目の計画が立てられております。これまでのようにスポーツ振興をスポーツそのものに求めるだけでなく、地方創生やまちづくり、健康、共生社会の実現、成長産業化など、スポーツによる社会への影響力を認め、それに期待をする施策が組まれています。しかしながら、これらの施策は確実なエビデンスが示されているわけではありません。どちらかというとこれまでの経験と主観的、希望的な観測の中で生まれています。スポーツの価値をより多くの人々に理解してもらうためには、しっかりしたエビデンスを蓄積していくことが必要です。このことについては今回の基本計画にも謳われており、エビデンスに基づいた政策立案が求められる中、ますますアカデミアへの期待が高まっていると思われます。

本学会においても積極的にこれら施策のエビデンスが蓄積されることが期待されています。是非、学会員の皆様には幅広い観点でエビデンスの蓄積に貢献いただきますよう、また研究活動によって学会の活性化にご尽力いただきますようお願い申し上げます。



『副会長就任にあたって』

仲野 隆士(仙台大学)



この度、学会副会長に再任させていただきました仙台大学の仲野です。引き続き、よろしくお願いいたします。早いもので、第22回大会を本学でWeb開催させていただいてから2年近くになります。この2年間、本学会も我々の日々の業務もコロナ感染に振り回されてきましたので、第24回大会が対面開催できることは喜ばしい限りです。

さて、文部科学省が策定した第3期スポーツ基本計画では、週1回以上のスポーツ実施率を70%に向上させると数値目標を掲げました。それに連動して、全国の市町村でも同様の数値目標を掲げる事になろうかと思います。私が会長としてこの度取りまとめさせていただいた「仙台市スポーツ推進計画 2022-2031」でも、現在R2の39.3%を、R8の目標値として70%に設定しました。そこでの肝となるのが、本計画ではスポーツの範囲をより幅広くとらえ、「余暇時間において健康の維持・増進を目的とした意識的・継続的に行う様々な身体活動」とし、市民の意識変換を促していく事です。アフターコロナの生涯スポーツは、正にスポーツインライフとなっていくのではないのでしょうか。

『理事長就任にあたって』

長ヶ原 誠 (神戸大学)



この度、恐縮ながら続投となりました。この挨拶文は、第7波の中で書いてありますが、ニュースレターが皆様に届く頃には何とか収まり、10月の学会大会では久しぶりの生の対面で拝顔できることを祈っています。2020年から続くこの状況は、これまでのスポーツを再考すると同時に、様々な工夫や努力によってスポーツの新たな視点や可能性に出会ってきた機会でもあり、これらが普遍的なスポーツの価値や意義の上に積み重なり、より成熟したスポーツ文化を目指す起点を今迎えていると思います。本学会も、皆様それぞれの蓄積とご努力、今後の展望や想いを抱きながら、生涯スポーツをライフワークとする者同志、熱く語り合う場として益々活性化し、さらにアクティブな研究教育の場になっていくことを信じています。生涯スポーツの国際大会、ワールドマスタースゲームズ関西は2027年に再延期が決定しました。生涯スポーツを看板として掲げる本家本元の本学会からも、生涯スポーツを自ら実践する様々なドリームチームが結成され、心身共にアクティブな学会としても盛り上がっていくことも夢見ています(2022年12月31日時点で30才以上なら誰でも出場可です！)。

『編集委員会委員長就任にあたって』

伊藤 克広(兵庫県立大学)



平素は編集委員会活動にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。この度、編集委員会委員長を仰せつかりました兵庫県立大学の伊藤克広です。改めましてどうぞよろしくお願いいたします。新編集委員会は、引き続き竹内亮先生(大阪体育大学)に副委員長としてまとめていただき、新たなメンバーとして上代圭子先生(東京国際大学)、谷所慶先生(関西大学)、常行泰子先生(神戸市外国語大学)、彦次佳先生(和歌山大学)、備前嘉文先生(國學院大学)に加わっていただきました。フレッシュな顔ぶれで編集委員会活動に臨んで参ります。

新編集委員会となり、会員の皆さまよりすでに多くの論文のご投稿をいただいております。本学会誌が更に更に発展し、多くの研究成果を発信していけるようメンバー共々協働して参ります。引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

『研究企画委員会委員長就任にあたって』

石澤 伸弘(北海道教育大学)



先日、久方ぶりの「対面形式」の学会に参加致しましたが、大げさですが心が躍る心境でした。思い起こせば、2年前よりオンライン学会が主流となり、便利な中にも一抹の物足りなさを感じておりました。

しかしながら何度目かの「波」も寄せてきております。今年こそは対面開催、そして従来のスタイルに戻りますことを切に祈りたいと思います。そしてその際には、より多くの皆さま方のご参加をお待ちしております。

『広報委員会委員就任にあたって』

工藤 保子(大東文化大学)



この度、4期目の広報委員長を仰せつかりました工藤保子です。1期目はホームページとFacebookを一体化させた新たな公式ホームページを開設し、2期目は学会員への情報提供の充実を図るために「会員専用ページ」を開設しました。3期目は、メーリングリストの運用を検討して事務局に提案したり、学会大会実行委員会との連携を強化してきました。4期目は多くの若手の会員に参画いただき、広報業務の作業分担を図るとともに、よりスピーディーな情報提供が可能となる委員体制を確保しました。引き続きより良い広報活動を模索したいと考えております。会員の皆様におかれましては、引き続き本会の広報活動にご協力いただければ幸いです。

『総務委員会委員就任にあたって』

久保田 晃生(東海大学)



今期、総務委員長を務めます東海大学の久保田晃生です。委員は、秋吉遼子先生(東海大学)、松下宗洋先生(東海大学)、西葉月先生(東海大学)です。本委員会は、

今期から設置されました。本委員会は事務局を兼ねますので、主な役割は、従来の事務局とかわらず、本学会を運営する裏方的な役割を担います。委員と一緒に、任期中の役割を担いたいと思います。本学会の困りごとなど、本委員会・事務局へご連絡願います。さて、本学会とのかかわりは、過去のニュースレターにも書きましたが、初代学会長の波多野義郎先生の教え子であったことからになります。その時に生涯スポーツとの出会いがあり、現在も本務校で生涯スポーツ学科に所属し、本学会の運営に携わっていることは、大変感慨深いです。本学会が、これからも生涯スポーツの学術的機関として学術的研鑽が図れる場になることを願っております。任期中、何卒宜しくお願い申し上げます。

【新役員等体制紹介】

日本生涯スポーツ学会 役員・顧問・委員会・事務局

(任期:2021 年度総会終了後～2023 年度総会まで) <敬称略>

会 長	萩裕美子（東海大学）		
副会長	仲野隆士（仙台大学）		
理事長	長々原誠（神戸大学）		
顧 問	野川春夫（順天堂大学） 山口泰雄（流通科学大学）	川西正志（北翔大学） 田畑 泉（立命館大学）	
理 事	伊藤克広（兵庫県立大学） 工藤保子（大東文化大学）	石澤伸宏（北海道教育大学） 久保田晃生（東海大学）	
監 事	富山浩三（大阪体育大学）	松本耕二（広島経済大学）	
編集委員会	委員長 伊藤克広（兵庫県立大学） 副委員長 竹内亮（大阪体育大学） 委員 常行泰子（高知大学） 備前義文（國學院大学） 上代圭子（東京国際大学）	彦次佳（和歌山大学） 谷所慶（関西大学）	
研究企画委員会	委員長 石澤伸弘（北海道教育大学） 委員 工藤康宏（武庫川女子大学） 山田亜沙妃（広島経済大学）	大勝志津穂（愛知東邦大学） 安光達雄（PCY, Ltd.）	
広報委員会	委員長 工藤保子（大東文化大学） 委員 岡安 功（広島経済大学） 岡本尚己（東海大学大学院） 渡邊夏海（東京 YMCA 社会体育・保育専門学校）	谷めぐみ（摂南大学）	
総務委員会 兼 事務局	委員長 久保田晃生（東海大学） 委員 秋吉遼子（東海大学）	西 葉月（東海大学） 松下宗洋（東海大学）	

日本生涯スポーツ学会第23回大会(オンライン開催)のご報告

2021年10月30日(土)～31日(日)の2日間にわたって開催された第23回学会大会は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、残念ながら第22回学会大会と同様にオンライン開催となりました。しかし、オンライン開催ではありましたが、多くの会員の皆様にご参加いただき、成功裏に終えることができました。実行委員会を代表して御礼申し上げます。

日本生涯スポーツ学会第23回大会実行委員会

委員長 東海大学 体育学部 生涯スポーツ学科 学科長 野坂 俊弥

- 期 日：2021年10月30日(土)～31日(日)
- 開催方法：大会HPからのオンライン開催 ※配信場所は東海大学(神奈川県平塚市)
- 主 催：日本生涯スポーツ学会
- 主 管：日本生涯スポーツ学会第23回大会実行委員会 <所属先は2021年10月時点>
 - 実行委員長:野坂 俊弥(東海大学)
 - 事務・会計:久保田 晃生・秋吉 遼子・岡田 成弘(東海大学)
 - 会場運営:知念 嘉史・吉岡 尚美・西 葉月・岡田 成弘(東海大学)※事務・会計と兼務
 - 広報・渉外:工藤 保子(大東文化大学)・吉原 さちえ(東海大学)
 - 研究企画:松下 宗洋・野坂 俊弥(東海大学)※実行委員長と兼務
 - 石澤 伸弘(北海道教育大学)・工藤 康宏(順天堂大学)
 - オブザーバー:萩 裕美子(東海大学)
 - 協力:岡本 尚己(東海大学)
- 協賛企業・団体(12団体)：
 - 東海大学、順天堂大学、北翔大学、セノー 株式会社、株式会社 染野製作所
 - 公益財団法人 日本スポーツクラブ協会、公益財団法人 笹川スポーツ財団
 - 株式会社 協栄、大阪体育大学、有限会社 市村出版、株式会社 イクシス
 - 東海大学総合研究機構

■ 大会テーマ

「かわる・つながる・ひろがる」生涯スポーツ5.0へ

■ 大会日程

	10月30日(土)	10月31日(日)
9:00		
9:30	開会式(30分)	
10:00	基調講演(25分)	口頭発表3 A・B(90分)
10:30		
11:00	パネルディスカッション(90分)	休憩
11:30		
12:00	昼食(ランチョンセミナー)	口頭発表4 A・B(90分)
12:30		
13:00	12:50～総会(40分)	閉会式(30分)
13:30		
14:00	口頭発表1 A・B(90分)	新理事・新委員会打合せ(60分)
14:30		
15:00	休憩	※時間・内容は、発表演題数等により変更される場合があります。
15:30		
16:00	口頭発表2 若手研究発表(90分)	
16:30		
17:00	ポスター発表 質疑(50分)	
17:30		
18:00	イブニングセミナー(60分)	
18:30		
19:00	終了	

「かわる・つながる・ひろがる」生涯スポーツ5.0へ

オンラインで開催！

日本生涯スポーツ学会 第23回大会

2021年
日時 10月30日(土)・31日(日)

場所 東海大学 湘南キャンパスより配信
〒259-1292 平塚市北金目4-1-1

主催 日本生涯スポーツ学会

運営 実行委員長 野坂 俊弥 (東海大学)

HP https://jssl.jp/taikai/

QRコード

スマホからでも申込可能！

日本生涯スポーツ学会 日本生涯スポーツ学会第23回大会事務局 日本生涯スポーツ学会事務局
〒259-1292 平塚市北金目4-1-1 東海大学湘南キャンパスより配信 事務局 氏名 野坂 俊弥
E-mail: jssl.taikai@gmail.com 問合せ: 氏名 野坂 俊弥

- 大会参加者 130名
- 発表演題数 若手発表:4題 一般口頭発表:14演題 ポスター発表:14題
- 基調講演

テーマ: 大会テーマ(「かわる・つながる・ひろがる」生涯スポーツ 5.0 へ)に沿う形で調整中
 演者: 井上康生氏(東海大学)
 座長: 萩裕美子(日本生涯スポーツ学会会長・東海大学)
 Zoomを用いたオンライン方式(事前録画なし)

■ パネルディスカッション

テーマ: 誰もがスポーツを楽しめるようにするために
 コーディネーター①: 野坂俊弥氏(第23回大会実行委員長・東海大学)
 コーディネーター②: 吉岡尚美氏(東海大学)
 パネラー①: 高野進氏(NPO法人日本ランニング振興機構・東海大学)
 パネラー②: 塩田琴美氏((一社)こみゅスポ研究所・株式会社CMU Holdings・慶應義塾大学)
 パネラー③: 井上康生氏(NPO法人JUDOs・東海大学)

■ ランチョンセミナー

- 1 日目テーマ:セノー株式会社の取り組み
 演者:舟橋 菜希(セノー株式会社 管理部 人事総務課)
- 2 日目テーマ:New 就活 Connection: スポーツ施設のお仕事
 演者:野川 春夫(公益財団法人 日本スポーツクラブ協会)
 中川 竜太(株式会社 染野製作所)
 水原 由明(公益財団法人 日本スポーツ施設協会)
 司会:工藤 康宏(順天堂大学)

■ イブニングセミナー

テーマ:『迷ったら大学院へ!』-大学院生活の実態-
 演者:八木原 綾音(大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科)
 福田 昌平(東海大学大学院体育学研究科体育学専攻修士課程)
 コーディネーター:青山 将己(神戸大学大学院人間発達環境学研究科博士課程後期課程)

■ 交流会

「1030クイズ大会」運営:秋吉遼子(東海大学)

■ 表彰

○ 若手研究論文発表賞

位高 駿夫(株式会社ハイクラス、東海大学体育学部)
 「地域住民の健康づくりに対する知識の自己認識 と実施状況に関する調査
 ー行政の効果的な健康づくり事業実施への基礎的な情報収集ー」

○ 若手研究論文発表奨励賞

該当なし

○ ポスター発表賞(大学院生部門)

【最優秀賞】

該当なし

【優秀賞】

門倉 悠真(NPO 法人かえるハーモニー、東京大学大学院総合文化研究科)
 「高齢者自主サークルへのオンラインツール導入の課題」

○ ポスター発表賞(学部生部門)

【最優秀賞】

堀田 禎也、戸根 明音、熱田 希弘、柴田 アンナ(神戸大学国際人間科学部)
 松崎 淳、三浦 敬太(神戸大学大学院人間発達環境学研究科)長ヶ原 誠(神戸大学)
 「スポーツ参画志向・運動実施状況と主観的気力年齢との関係性
 ー年代(若年層・中年層・高年層)と性別による比較ー」

【優秀賞】

西口 莉穂(中京大学スポーツ科学部)榎本 皐、松田 優里、山本 陽子(和歌山大学観光学部)
川西 司(中京大学大学院スポーツ科学研究科)伊藤 央二(中京大学スポーツ科学部)
「フィギュアスケーターの理想感情と競技場面の音楽選好について
一演技曲とルーティン音楽の選好に着目して一」

北原 大和、松下 宗洋(東海大学体育学部)
「場面別身体活動と睡眠の質との関連:横断研究一スポーツ ライフ・データの二次解析一」

千明 詩菜、松下 宗洋(東海大学体育学部)
「学校期の組織的スポーツ加入歴と現在の運動・スポーツ実施の関連
一スポーツライフ・データの二次解析一」

■ 記録写真



パネルディスカッション

パネリスト



交流会



実行委員会の集合写真

日本生涯スポーツ学会第24回大会(対面開催)のご案内

<大会概要>

【期日】:2022 年 10 月 29 日(土)～10 月 30 日(日)

【場所】:愛知東邦大学 名古屋市名東区平和が丘 3-11

【主催】:日本生涯スポーツ学会

【主管】:日本生涯スポーツ学会第 24 回大会実行委員会

【大会テーマ】: 2026 アジア大会を見据えた愛知県のスポーツ振興

～スポーツイベントが結ぶ地域における多様な人々～

【大会日程】

	10 月 29 日(土)	10 月 30 日(日)
9:30	開会式(30 分)	パネルディスカッション(100 分)
10:00	基調講演(50 分)	
10:30		
11:00	口頭発表1 A・B(90 分)	
11:30		
12:00		
12:30	昼食(ランチ懇談会)	口頭発表 4 A・B(90 分)
13:00		閉会式(30 分)
13:30	総会(40 分)	※時間・内容は、発表演題数等により変更される場合があります。
14:00		
14:30	口頭発表2 若手研究発表(90 分)	
15:00		
15:30		
16:00	口頭発表 3 A・B(90 分)	
16:30		
17:00	ポスター発表 質疑(50 分)	
17:30		
18:00	イブニングセッション	
18:30		
19:00		
19:30	終了	

【各プログラム概要】

1. 基調講演

テーマ: Sport, Health and Happiness in the Context of Asian Games

演 者: Dr. Huimei Liu(Zhejiang University)

司会 : 伊藤央二(中京大学)

2. パネルディスカッション

テーマ: 2026 アジア大会を見据えた愛知県のスポーツ振興

～スポーツイベントが結ぶ地域における多様な人々～

パネリスト: 見玉友(日本福祉大学)

佐藤剛史(名古屋グランパスエイト)

山肥田徳文(愛知県スポーツ局スポーツ振興課)

来田享子(中京大学)

指定討論者: 杉山直樹(愛知県スポーツ局アジア・アジアパラ競技大会推進課)

モデレーター: 井澤悠樹(東海学園大学)

3. 一般発表

(1) 口頭発表

パワーポイント(Windows 版、Mac 版は互換性を確認)を用いた発表をしてください。

発表時間 10 分、質疑応答 5 分となります。(発表演題数によって最終決定します)

詳細は、改めて大会 HP 等でお知らせいたします。

(2) ポスター発表

ポスターは、幅約 90cm×縦約 120cm 以内で作成し、ポスター発表セッション開始前に掲示してください。発表時間は、各演題 3 分となります。詳細は、改めて大会 HP 等でお知らせいたします。

4. ランチ懇談会

各自ランチを準備いただき、食堂スペースにて懇談会を実施予定です。

お弁当が必要な方は参加申し込み時にお申し込みください(追加及び当日の受付は致しません)。

5. イブニングセッション

大学院生主催によるセミナーを予定。大会 HP 等で内容や開催方法については適宜お知らせいたします。

6. 総会

詳細は、大会 HP 等でお知らせいたします。

【参加・発表申込について】

1. 参加申し込みについて

第 24 回大会 HP(<https://2022-jsls-conference.jimdosite.com/>)のホームにある大会参加申込のリンクからフォームにてお申し込み下さい。

早期参加申込および研究発表申込期限：8 月 31 日(水)

※申込期限までに、下記の大会参加費もお振込みください。

これ以降(8 月 31 日(水)以降)の参加申込期限(研究発表の申込はできません)：10 月 14 日(金)

2. 口頭発表(一般、若手)・ポスター発表の研究発表申込について

参加申込の際には、希望する発表区分をお知らせください。

発表者は、大会 HP(<https://2022-jsls-conference.jimdosite.com/>)に示された発表抄録用紙リンクをクリックし、発表抄録用紙をダウンロード、記入・作成の上、PDF ファイル及び Word ファイルの両方を下記メールアドレスへファイル添付にて提出してください。

口頭発表(若手)の発表抄録は事前審査を行いますので2ページ以内、それ以外の発表抄録は1ページで作成してください。なお、発表抄録は、結果までを明記したものに限り受理します。また、下記の

【その他】にある筆頭者や共同研究者の要件を確認して申込願います。

研究発表抄録提出期限：9 月 16 日(金)

抄録提出先メールアドレス：24th_jsls@edu.aichi-toho.ac.jp

【大会参加費】

参加申込後、下記の金額を振込んでください。

個人会員(一般) 早期申込・振込	5,000 円(8 月 31 日まで), それ以降の申込・振込 7,000 円
個人会員(院生) 早期申込・振込	5,000 円(8 月 31 日まで), それ以降の申込・振込 7,000 円
学部生(会員/非会員) 早期申込・振込	2,000 円(8 月 31 日まで), それ以降の申込・振込 3,000 円
非会員(一般/院生) 早期申込・振込	6,000 円(8 月 31 日まで), それ以降の申込・振込 8,000 円

【大会参加費の振込先】

銀行名	名古屋銀行(金融機関コード:0543)
支店名	一社支店(店番:140)
預金種目	普通
口座番号	5005643
口座名	ニホンショウカイスポーツガッカイダイ 24 カイタイカイ タイカイジツコウインカイケイタントウ スキタニ マサツグ 日本生涯スポーツ学会第 24 回大会 大会実行委員会計担当 杉谷 正次

※本年度は名古屋銀行で口座を開設しています(昨年度及び学会費の口座とは異なります)

【若手研究発表賞について】

会則第3条に定める目的を促進するために「若手研究発表賞」を授与します。詳細は、以下の通りです。
若手個人会員の皆様、また研究室所属の大学院生にお勧めいただき、奮ってエントリーいただきますようお願いいたします。

- (1) 対象者: 当該年度末(3 月 31 日)に 35 歳未満の者
- (2) 対象発表: 当該年度の学会大会における口頭発表
- (3) エントリー: 応募は自薦とし、参加申込時に「口頭発表(若手)」を選択してください。
- (4) 受賞者の決定: 研究企画委員会によって選出された「若手研究発表賞選考委員会」の審査によって決定します。なお、賞は発表者のみに授与します。
- (5) 表彰: 選考委員長が選考経過および選考理由を学会期間中に報告し表彰します。
- (6) 副賞: 3 万円

【ポスター発表賞について】

学部学生および大学院生によるポスター発表を促進するためにポスター発表賞を授与します。
詳細は下記の通りです。奮ってエントリーいただきますようお願いいたします。

- (1) 部門および対象者
 - 学部生部門: 単独・共同に関わらずポスター発表を行う学部学生および共同研究者
 - 大学院生部門: ポスター発表を行う大学院生(筆頭者)および共同研究者
- (2) エントリーと審査
 - ポスター発表にエントリーされた発表のうち、両部門に該当するすべての発表を審査対象とします。ただし、単独・共同発表に関わらずエントリーは 1 編のみです。なお、共同研究者として複数の発表に名前が記載されることは妨げません。
- (3) 表彰および副賞
 - 両部門のそれぞれに「最優秀」、「優秀」を授与します。賞状には対象者全員の名前およびタイトルが明記されます。「最優秀」には 1 万円程度、「優秀」には 5 千円程度の副賞を授与します。

【その他】

(1) 日本生涯スポーツ学会の年会費が未納の方(筆頭者)は発表できません。

発表申込をされる方は、下記の振込先に事前に年会費の納入をお願いします。

ただし、学部生は大会参加費のみで発表できます。

(2) 共同研究者となれるのは(抄録への氏名記載)、下記①②のいずれかに該当される方です。

① 日本生涯スポーツ学会会員(年会費の未納がないこと)で、大会参加費を納めた方

② 日本生涯スポーツ学会非会員で、上記大会参加費を納め方

※発表申込をされる方は、共同研究者について条件をご確認ください。

(3) 学部生(非会員)が発表する場合、共同研究者に必ず個人会員(一般/院生)1 名以上が入ってください。

【参考：日本生涯スポーツ学会年会費振込先(大会参加費とは別口座です)】

郵便振替	
口座名	日本生涯スポーツ学会
記号番号	01750-9-80562
ゆうちょ銀行(コード:9900)	
店番	179
預金種目	当座
店名	一七九店(イチナナキュウ店)
口座番号	0080562

【問い合わせ先】

日本生涯スポーツ学会第24回大会事務局(学会大会の問い合わせ)

〒465-8515 名古屋市名東区平和が丘3-11 愛知東邦大学人間健康学部 大勝志津穂

e-mail: 24th_jsls@edu.aichi-toho.ac.jp メールの件名に【JSLs24th】と表記

日本生涯スポーツ学会事務局(学会入会及び年会費の問い合わせ)

〒259-1292 平塚市北金目4-1-1 東海大学体育学部生涯スポーツ学科 久保田研究室

e-mail: jp.lifelong.sport@gmail.com 担当者: 久保田 晃生



愛知東邦大学: 全天候型のサッカー場

【事務局からのお願いとお知らせ】

＜年会費＞

年会費の納入状況について、確認したい方は遠慮なく事務局にご連絡ください。また、本学会退会の際は、退会される年度の年会費の納入をお願いしておりますので、お知りおきください。

【新入会員紹介】 2021年7月～2022年7月11日現在 理事会承認分

佐藤 馨(びわこ成蹊スポーツ大学)
郡山 さくら(早稲田大学大学院)
北濱 幹士(東海大学)
八木原 綾音(大阪体育大学大学院)
知念 嘉史(東海大学)
池田 篤史(大阪体育大学大学院)
堀込 孝二(大阪国際大学)
門倉 悠真(東京大学大学院)
八島 雄士(和歌山大学)
藤川 祐輝(和歌山大学大学院)
久田 晴生(スポーツ庁)
塚本 拓也(仙台大学)
坂本 真嗣(鹿屋体育大学大学院)
小峯 秋二(北翔大学)

(入会順、敬称略)



【編集 日本生涯スポーツ学会 広報委員会】

日本生涯スポーツ学会事務局

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目 4-1-1 東海大学 体育学部生涯スポーツ学科 久保田研究室気付
TEL : 0463-58-1211 (内 3594)
E-mail: jp.lifelong.sport@gmail.com HP : https://jsls.jp